

下水道温室効果ガス（GHG）排出量 サマリー情報 2023.11 版

持続可能な社会のための日本下水道産業連合会（FJISS）

日本の下水道における GHG の排出量は、FJISS 独自の算出によれば地球温暖化対策計画の基準年である 2013 年度で年間約 625 万 t-CO₂です。その 7 年後の 2020 年でみると、504 万 t-CO₂であり、約 120 万 t-CO₂の削減となっています。ただし、電力排出係数の低減による部分を除き、下水道事業分としての削減量は 45.3 万 t-CO₂/年です。国土交通省下水道部から示されている下水道事業の削減目標は、2030 年度で 2013 年度比 208 万 t-CO₂ですので、下水道の目標削減量に対しては 22%の進捗状況です。内訳では、汚泥焼却由来が大きく改善されています。一方電力由来については、供給側の排出原単位で削減されているものの、省エネ化は進んでいない状況です。

表-1 下水道 GHG 排出量 年度比較

千 t-CO ₂ /年							
	電力由来	燃料由来	水処理由来	汚泥焼却由来	合計CO ₂	2013年度からの削減量	
2013年度	3,916	310	804	1,217	6,246		
2020年度	2013年度排出係数で算出	3,922	193	752	927	5,794	453
	2020年度排出係数で算出	3,172	193	752	927	5,044	1,202
改善率 2013=1.00	2013年度排出係数で算出	1.00	0.62	0.94	0.76	0.93	
	2020年度排出係数で算出	0.81				0.81	

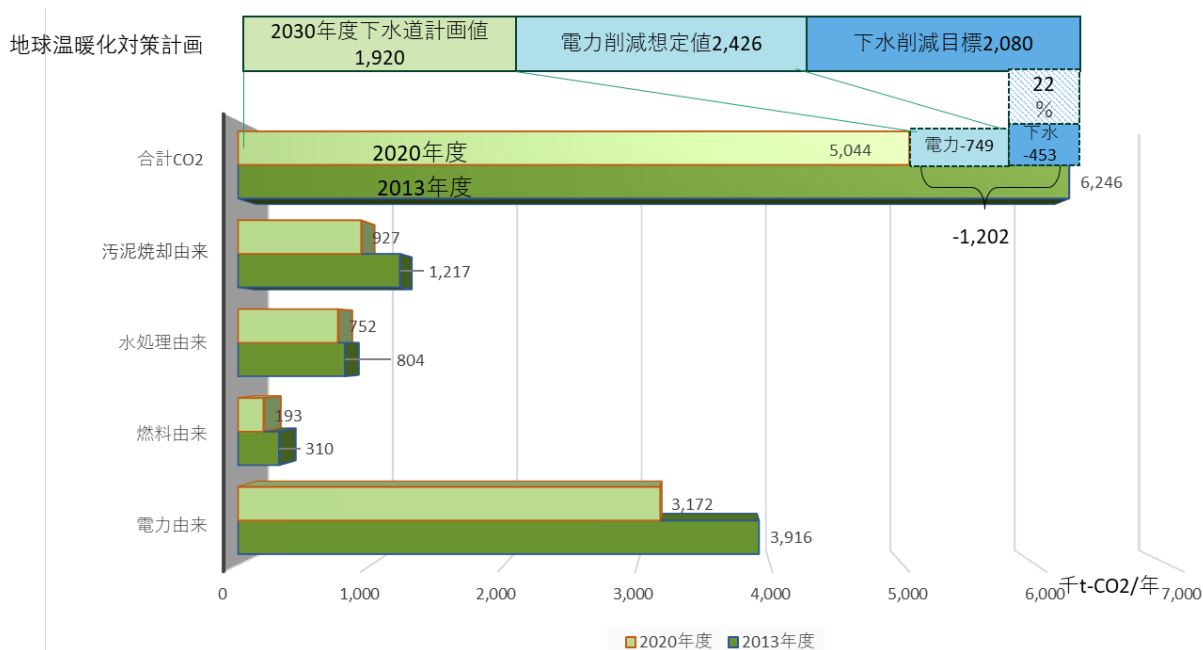


図 全国下水道 GHG 発生源別排出量比較